

会長通信 3 年 11 月号

令和 3 年 11 月 13 日
穂積啓三

よくミーティングを行っていると感じることがあります。
現状様々な問題を打ち合わせていますが、実はその問題はほとんどその組織の成長性に関わっています。
組織が成長すると様々な問題は解決します。

リーダーの仕事の大きな部分は部下の成長に手を貸すことです。チームが成長を実感しなければ理想的な組織に向きません。しかし、最も大切なのはリーダー自身が成長しなければ組織は成長出来ません。自分自身の組織の成長を実感していますか？
組織が成長していないとすれば、まずあなた自身から成長しなければ、その組織の成長は見込めません。
では自ら成長すると言うことは一体どう言うことでしょうか

前月に仕事=作業+貢献と書きましたが、実はよくよく考えるとそれに1つ加わり仕事=作業+貢献+成長ではないかと思えます。
今まで仕事の目的は貢献と伝えて来ましたが、もう一つの仕事の目的の大切なことは人間的成長にあるのではないかと思えます。
仕事の意味、何の為に仕事をしているのかを常に考えようと言っていますが、それとともに何の為に生きているのか、生きている意味・目的は何なのかを考えてみることも必要です。
仕事の中で人間力、人間の幅を高めるのにはどう生きるのかが重要な要素です。

なかなか仕事の中で生きる意味を語るのは難しかった為、今まであまり語ることは出来ませんでした。やはり勇気を持って語る必要があると思えます。

仕事は楽ではありません。問題の連続です。実はその問題から逃げずに真摯に対応していれば自らを人間的に成長させてくれます。

以前 20~30 年前に「人生は心の学校」あるところからやって来て、ある所へ帰る。その間に心のお勉強をするのが人生だと教えられました。
その意味をずっと考え続けていましたが、何だか最近やっと解ってきた様に感じます。

実は仕事も人生も自らの心を高めるのが目的でどちらも同じではないかと思えます。株式会社ほづみの企業理念に「自分を高める」とあります。仕事を通じて自らを高めることが、本当の仕事の意味だと思います。
貢献は自らの存在感を高めます。成長は自らの本質に迫ります。

ほづみの各組織でさまざまな問題が噴出します。
その問題の根源を探っていきますとリーダーの人間性に突き当たります。仕事の問題を解決する前にまず行わなければならないのは
リーダーの人間性の向上、リーダーがどう生きるのかに集約されるのではないかと思う今日この頃です。